

シーシェパードのステイブ・アーウィン号への書簡

「宛先：ステイブ・アーウィン号上の担当者

差出人：第2勇新丸船長

2008年1月15日

この書簡は、本日2008年1月15日に第2勇新丸に違法に侵入してきた2名、ベンジャミン・マイケル・ポッツ氏及びジルス・デビッド・レイン氏の取り扱いに関して、貴殿に通知するものである。

我々はそちらの船に戻りたいという両名の希望を尊重しており、そちらが日本側調査船の安全を完全に保証するのであれば、彼らはステイブ・アーウィン号にできるだけ早く戻ることができる。

第2勇新丸船上では、両名とも人道的取り扱いを受け、暖かい食事を提供されている。さらに両名は快適な暖かいシャワーを浴び、清潔な白いシーツが敷かれた快適なベッドで十分な睡眠を取っており、両名に対する暴力的行為はまったく行われていない。

これら2名をそちらに移乗させる際には、以下の指示に従ってもらわなければならない。

1. われわれに対していかなる暴力的行為もせず、撮影も行わない。
2. 第2勇新丸との会合・両名の引き渡しにはゾディアック・ボートを用いることとし、その際にはこちらを攻撃するための装備・道具類を積み込まない。
3. その間、ステイブ・アーウィン号はわれわれが指示する位置、第2勇新丸とゾディアックの会合位置から少なくとも10マイル以上離れた位置、に留まること。
4. ヘリコプターを飛行させない。

われわれとそちらのすべてのやり取りは、日本鯨類研究所（ICR）を介した公式の書簡とする。

上記が受入可能であれば、ICR にファクシミリで回答されたい(FAX# +81-3-3536-6522)。そちらの回答を確認後直ちに、両名の解放に関する詳細（会合時刻及び位置）を伝える。